

んぽら んぽら

Mpola Mpola

From Mpigi
(ンピジより)
協力隊通信 第28号
編集： ナルベガ真緒

21/June/2016

“Nakirebe English Club Start Off!”

(ナチレベ英語クラブ結成！)

みんなからの熱いメッセージDVDを早速子どもたちと拝見！一生けん命英語とスワヒリ語で自己紹介しているのを、子どもたちも真剣に聞いて、聞き取っていました。ちなみに、ウガンダは現地語（現地の人々が話す言葉）がたくさんあり、私たちのいるンピジ県はガンダ語を話します。しかし、ところどころスワヒリ語と似たところもあり、10をクミと読んだりするところは同じで、みんな喜んでいました。ゆうきくんの二重跳びに感心し、ひなちゃんの剣玉に大笑いし（最後には拍手していましたよ！）、4年生（今の5年生）の質問に答え、6年生（今の中学1年生）のプレゼンを真剣に聞いて日本語を真似してみたりと、たっぷりたんのうしていました！

DVDを見終わってから、「子どもたちが英語クラブ入りたい！」とたくさん言ってくれました。第2回目は、「日本の子どもたちにこんなことを紹介したい！」ということについて話し合いました。学校について、ウガンダについて、文化についてなどたくさん子どもたちから意見がでました。これから、写真や動画、文にまとめて、みんなの元に届けますよ〜♪

DVD かんしょう！

初めは少人数でしたが、

徐々に増えて来て、

気づけば教室がまんぱんに！

Japan ♥ Uganda

大きな段ボール箱が2つ。中には、たくさんのスパイクと運動靴、体育や音楽で大活躍しそうな楽器、日本のおもちゃ！！懐かしいものがいっぱい、心がとてもいやされました。早速、アルティメットクラブの子どもたちにシューズをプレゼント！ではなく、1日レンタルしました！というのも、子どもたちはよく物をなくしたり、よくぬすまれたり（日本では考えられないよね！？）するので、とりあえず私が当分の間管理することに。スパイク

をはいた子どもたちの顔は、文字で表現できないくらい歓喜に満ちあふれていました。プレー中も、くつを何度も触ったり、眺めたり、はだしの時より、思い切って走ってみたりしていました。

みんな、本当に、本当にウガンダの子どもたちのために、大切なくつを寄付してくれてありがとうございました。大切に使うように、日々子どもたちに伝えます。

